

令和6年度長野県商圏調査報告書（概要）正誤表

該当箇所	誤	正
1ページ 8行目	上位 7 市で、全商圏人口（4,076 千人）の 54.6%を占めている。	上位 7 市で、全商圏人口（4,021 千人）の 55.3%を占めている。
1ページ 表 1	「旧更埴市（千曲市）」13位、商圏人口合計 112,892、二次商圏人口 77,229、増減率 78.1、商圏構成市町村数における市町村数 10、増減 4	「旧更埴市（千曲市）」15位、商圏人口合計 59,923、二次商圏人口 24,260、増減率-5.5、商圏構成市町村数における市町村数 4、増減-2
	「塩尻市（合併前）」14位、「須坂市」15位	「塩尻市（合併前）」13位、「須坂市」14位
2ページ 表 2	「旧更埴市（千曲市）」13位、令和 6 年度商圏人口 112,892、増減率 78.1	「旧更埴市（千曲市）」15位、令和 6 年度商圏人口 59,923、増減率-5.5
	「塩尻市（合併前）」14位、「須坂市」15位	「塩尻市（合併前）」13位、「須坂市」14位
2ページ 1行目	県内上位 25 市町村の商圏人口と前回調査を比べると、2市 1 町で商圏人口が増加、15市 5 町 2 村で商圏人口が減少している。特に、3市 1 町 1 村では、10%以上の増減がみられた（表 2）。	県内上位 25 市町村の商圏人口と前回調査を比べると、1市 1 町で商圏人口が増加、16市 5 町 2 村で商圏人口が減少している。特に、2市 1 町 1 村では、10%以上の増減がみられた（表 2）。
2ページ 4行目	<p><u>最も增加率が高い旧更埴市（千曲市）では、前回調査で商圏となつていなかつた大町市（合併前）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 23.7%とするなど、商圏として 1 市 1 町 4 村を増やし、商圏人口が約 5 万人増加した。</u></p> <p><u>次に增加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となつていなかつた旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約 7 千人増加した。</u></p> <p><u>また 3 番目に增加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1 町 3 村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約 1 万 7 千人増加した。</u></p>	<p><u>(削除)</u></p> <p><u>最も增加率が高い旧豊科町（安曇野市）では、前回調査で商圏となつていなかつた旧安曇村（松本市）（吸引率 0.0%）からの吸引率を 5.2%、白馬村（吸引率 4.8%）からの吸引率を 5.3%とし、商圏人口が約 7 千人増加した。</u></p> <p><u>次に、增加率が高い松本市（合併前）では、旧高遠町（伊那市）（吸引率 1.5%）からの吸引率を 5.2%とするなど、1 町 3 村を商圏に加えたことにより、商圏人口が約 1 万 7 千人増加した。</u></p>
3ページ 図 1	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円のサイズ：商圏人口 112,892	長野県の商圏構造（概念図）内における旧更埴市（千曲市）の円のサイズ：商圏人口 59,923 に縮小
4ページ 6行目	また、3番目に減少率が高い <u>旧臼田町（佐久市）</u> では、前回商圏であった <u>小海町 3.5%</u> （前回吸引率 11.7%）、 <u>南牧村 3.4%</u> （前回吸引率 6.0%）、 <u>南相木村 0.0%</u> （前回吸引率 19.3%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 9 千人減少した。	また、3番目に減少率が高い <u>大町市（合併前）</u> では、前回商圏であった <u>松川村 4.7%</u> （前回吸引率 8.8%）が商圏外となったことから、商圏人口が約 1 万 1 千人減少した。
4ページ	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、 <u>旧更</u>	減少率が最も高い大町市（合併前）の流出状況をみると、 <u>無店</u>

令和6年度長野県商圏調査報告書（概要）正誤表

該当箇所	誤	正																																																																																
13行目	<u>埴市（千曲市）</u> への流出率が23.7%（前回調査 <u>0.0%</u> ）と前回よりも増加している。	舗販売への流出率が23.7%（前回調査 <u>17.1%</u> ）と前回よりも増加している。																																																																																
4ページ 16行目	<u>55</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>26</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。	<u>53</u> 町村で減少がみられる。このうち、 <u>25</u> 町村は、前回調査に引き続きの減少となっている。																																																																																
4ページ 19行目	前回 <u>同様、過去最少の2町</u> となった（図2）。	前回 <u>よりも1村増え、3町村</u> となった（図2）。																																																																																
5ページ 表3	<table> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>市町村名</th> <th>令和6年</th> <th>増減</th> <th>令和3年増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>佐久市（合併前）</td> <td>81.5</td> <td>-2.7</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>駒ヶ根市</td> <td>54.4</td> <td>-6.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>旧穂高町（安曇野市）</td> <td>52.2</td> <td>-0.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>塩尻市（合併前）</td> <td></td> <td></td> <td>-4.2</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>軽井沢町</td> <td>28.9</td> <td>-4.8</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>富士見町</td> <td>27.3</td> <td>-2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>旧堀金村（安曇野市）</td> <td>23.4</td> <td>2.5</td> <td>-5.9</td> </tr> </tbody> </table>	順位	市町村名	令和6年	増減	令和3年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	-2.7		10	駒ヶ根市	54.4	-6.2		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	-0.2		18	塩尻市（合併前）			-4.2	23	軽井沢町	28.9	-4.8		25	富士見町	27.3	-2.1		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	2.5	-5.9	<table> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>市町村名</th> <th>令和6年</th> <th>増減</th> <th>令和3年増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>佐久市（合併前）</td> <td>81.5</td> <td>-2.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>駒ヶ根市</td> <td>54.4</td> <td>-6.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>旧穂高町（安曇野市）</td> <td>52.2</td> <td>-0.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>塩尻市（合併前）</td> <td></td> <td></td> <td>-4.3</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>軽井沢町</td> <td>28.9</td> <td>-4.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>富士見町</td> <td>27.3</td> <td>-2.2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>29</td> <td>旧堀金村（安曇野市）</td> <td>23.4</td> <td>2.4</td> <td>-5.8</td> </tr> </tbody> </table>	順位	市町村名	令和6年	増減	令和3年増減	5	佐久市（合併前）	81.5	-2.6		10	駒ヶ根市	54.4	-6.3		12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	-0.3		18	塩尻市（合併前）			-4.3	23	軽井沢町	28.9	-4.9		25	富士見町	27.3	-2.2		29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	2.4	-5.8
順位	市町村名	令和6年	増減	令和3年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	-2.7																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	-6.2																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	-0.2																																																																															
18	塩尻市（合併前）			-4.2																																																																														
23	軽井沢町	28.9	-4.8																																																																															
25	富士見町	27.3	-2.1																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	2.5	-5.9																																																																														
順位	市町村名	令和6年	増減	令和3年増減																																																																														
5	佐久市（合併前）	81.5	-2.6																																																																															
10	駒ヶ根市	54.4	-6.3																																																																															
12	旧穂高町（安曇野市）	52.2	-0.3																																																																															
18	塩尻市（合併前）			-4.3																																																																														
23	軽井沢町	28.9	-4.9																																																																															
25	富士見町	27.3	-2.2																																																																															
29	旧堀金村（安曇野市）	23.4	2.4	-5.8																																																																														
5ページ 図2	「30%以上50%未満」令和6年度「 <u>2</u> 」「50%以上70%未満」令和6年度「 <u>3</u> 」	「30%以上50%未満」令和6年度「 <u>3</u> 」「50%以上70%未満」令和6年度「 <u>2</u> 」																																																																																
6ページ 9行目	前回と比べると、市部では、旧更埴市（千曲市）（90.7%）で24.2ポイント增加了。	前回と比べると、 <u>市部では、增加了市が無かった。</u>																																																																																
6ページ 14行目	塩尻市（合併前）（46.0%）で7.3ポイント、上田市（合併前）（ <u>129.4</u> ）で8.1ポイント、	塩尻市（合併前）（46.0%）で7.3ポイント、上田市（合併前）（ <u>129.6</u> ）で7.9ポイント、旧更埴市（千曲市）（58.4%）で8.1ポイント、																																																																																
6ページ 17行目	17市中、 <u>吸引力を高めたのは1市となり、16市</u> において集客力が低下しているといえる。	17市全 <u>てにおいて</u> 集客力が低下しているといえる。																																																																																
7ページ 表5	表5 市町村別吸引係数（上位30位）《全品目平均》の推移	表5 市町村別吸引係数（上位30位）《全品目平均》の推移																																																																																
	「上田市（合併前）」令和6年吸引係数 <u>129.4</u> 増減 <u>-8.1</u>	「上田市（合併前）」令和6年吸引係数 <u>129.6</u> 増減 <u>-7.9</u>																																																																																
	「旧更埴市（千曲市）」 <u>12</u> 位、令和6年吸引係数 <u>90.7</u> 、増減 <u>24.2</u>	「旧更埴市（千曲市）」 <u>18</u> 位、令和6年吸引係数 <u>58.4</u> 、増減 <u>-8.1</u>																																																																																
	「駒ヶ根市」 <u>13</u> 位、「飯山市」 <u>14</u> 位、「山形村」 <u>15</u> 位、「茅野市」 <u>16</u> 位、「旧木曾福島町（木曾町）」 <u>17</u> 位、「箕輪町」 <u>18</u> 位	「駒ヶ根市」 <u>12</u> 位、「飯山市」 <u>13</u> 位、「山形村」 <u>14</u> 位、「茅野市」 <u>15</u> 位、「旧木曾福島町（木曾町）」 <u>16</u> 位、「箕輪町」 <u>17</u> 位																																																																																

令和6年度長野県商圏調査報告書（概要）正誤表

該当箇所	誤	正
8ページ 1行目	4 商圏変動の類型～縮小商圏が <u>約6割</u> を占める	4 商圏変動の類型～縮小商圏が <u>約8割</u> を占める
8ページ 2行目	<p>自市町村以外にも商圏を有する 17 市及び <u>25</u> 町村について、それぞれの商圏人口と吸引人口の増減率から商圏の変動状況を分析すると、次のパターンに分類できる。</p> <p>なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圏は前回よりもやや増加し、全体の<u>約6割</u>を占める結果となった。</p>	<p>自市町村以外にも商圏を有する 17 市及び <u>20</u> 町村について、それぞれの商圏人口と吸引人口の増減率から商圏の変動状況を分析すると、次のパターンに分類できる。</p> <p>なお、前回調査と比較して、分析状況に大きな変化はないものの、縮小商圏は前回よりもやや増加し、全体の<u>約8割</u>を占める結果となった。</p>
8ページ 15行目	I 『成長商圏』: <u>3</u> 市町村 (<u>△7</u>) <u>旧更埴市</u> (千曲市)	I 『成長商圏』: <u>2</u> 町村 (<u>△8</u>) <削除>
8ページ 22行目	IV 『縮小商圏』: <u>28</u> 市町村 (+ <u>13</u>)	IV 『縮小商圏』: <u>29</u> 市町村 (+ <u>14</u>)
8ページ 25行目	茅野市、塩尻市（合併前）、佐久市（合併前）	茅野市、塩尻市（合併前）、 <u>旧更埴市</u> (千曲市)、佐久市（合併前）
9ページ 図3	商圏変動の類型（17 市）における <u>旧更埴市</u> (千曲市) の座標： 吸引人口増減率 <u>34.1%</u> 、商圏人口増減率 <u>78.1%</u>	商圏変動の類型（17 市）における <u>旧更埴市</u> (千曲市) の座標： 吸引人口増減率 <u>-13.7%</u> 、商圏人口増減率 <u>-5.5%</u>
10ページ 3行目	大桑村 (46.7%)、壳木村 (46.3%)、南牧村 (33.2%)、川上村 (31.1%) の <u>6</u> 町村となる	大桑村 (46.7%)、壳木村 (46.3%)、 <u>旧八坂村</u> (大町市) (35.2%)、南牧村 (33.2%)、川上村 (31.1%) の <u>7</u> 町村となる
10ページ 5行目	<p>流出率が 5 %を超えるのは、<u>19</u> 町村（前回調査比 +<u>5</u>）であった。</p> <p>前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>63</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。</p>	<p>流出率が 5 %を超えるのは、<u>22</u> 町村（前回調査比 +<u>8</u>）であった。</p> <p>前回調査と比較すると、県外への流出率が増加した市町村数が <u>66</u> 市町村となり、減少した市町村数を上回っている。</p>
10ページ 表6	5位南牧村	5位 <u>旧八坂村</u> (大町市) のデータを追加
	6位川上村、7位栄村、8位原村	6位南牧村、7位川上村、8位栄村、
	9位王滝村	9位小谷村のデータを追加
	10位 <u>旧三岳村</u> (木曽町)	10位原村
10ページ	(31.2%) など <u>105</u> 市町村（前回調査比 + <u>7</u> ）である。	(31.2%) など <u>110</u> 市町村（前回調査比 + <u>10</u> ）である。

令和6年度長野県商圏調査報告書（概要）正誤表

該当箇所	誤	正
11行目		
10ページ 15行目	で <u>106</u> 市町村（前回調査比+2）、衣料品で <u>95</u> 市町村（前回調査比+4）、飲食料品で6村（前回調査比△1）であった。	で <u>111</u> 市町村（前回調査比+7）、衣料品で <u>100</u> 市町村（前回調査比+9）、飲食料品で6村（前回調査比△1）であった。
10ページ 図5	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和6年度5%～10% <u>23</u> 、10%以上 <u>82</u>	無店舗販売利用率階級別市町村数の棒グラフデータ：令和6年度5%～10% <u>22</u> 、10%以上 <u>88</u>
12ページ 9行目	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.9</u> ポイント、「購入手続きが簡単」が <u>2.5</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.3</u> ポイント増加している（図10）。	とほぼ同じ回答割合となるが、「割引等のサービスがある」が <u>2.6</u> ポイント、「購入手手続きが簡単」が <u>2.2</u> ポイント、「商品情報がわかりやすい」が <u>1.1</u> ポイント増加している（図10）。